



議会報

# かわべ

第94号

平成15年 2月15日



完成が間近の第三保育所、児童館等児童厚生施設（2月3日撮影）

12月定例会 議員定数を2人減	2
可決案件 下麻生支所を廃止	2
国民健康保険税の引き上げ	2
意見書2件を提出	3
一般質問 7氏が20項目を	4~12
編集後記	12

# 12月定例会

(12月13日~20日まで)

## 議員定数を14人から12人に

議員定数条例の制定、国民健康保険税条例の一部改正、支所設置条例の一部改正など8議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、追加案件として職員の給与に関する条例等の一部改正など8件の案件についても審議し可決しました。

### 可決案件

正  
▲国民健康保険税条例の一部改  
所廃止しました。

医療費の増加による国民健  
康保険の財政を維持するため、  
保険税の税率を改正しました。

▲議会の議員定数条例の制定  
地方自治法の改正により、  
従来の法で定められていた議員  
定数を減少する条例を廃止し、  
新たに町で定める議員定数条  
例を制定しました。

この条例を制定するにあたり、  
議員にかかる町の財政負担を  
軽減し、町の行財政改革に応  
えるため議員定数を2人減ら  
し12人としました。

改正された議員定数は次の  
議会議員の一般選挙から適用さ  
れます。

▲川辺町の特定の事務の郵政  
官署における取扱いに関する協  
議

下麻生支所の廃止に伴う町  
の窓口サービスの一部を川辺麻生  
郵便局に4月1日から委託し  
ます。

#### ▲支所設置条例の一部改正

改正により、4月1日から下  
麻生支所が廃止されます。

▲公告式条例の一部改正  
下麻生支所の廃止に伴い、  
条例等を公布する掲示板を一箇

	所 得 割	資 産 割 (固定資産割)	平 等 割 (1世帯当たり)	均 等 保 (被 1 人 当 たり)	割 者 保 險 た り)
改 正 前 (14年度まで)	3.80%	33.00%	24,000円	21,500円	
改 正 後 (15年度以降)	4.60%	33.00%	26,000円	24,000円	

国民健康保険税の税率改正

#### ▲上水道事業給水条例の一部改 正

法の改正に伴い、10<sup>3</sup>m<sup>3</sup>未満  
の簡易貯水槽についても設置  
者の責務として一定の検査を  
受けなど管理の徹底をする  
よう、町が助言、指導、勧告  
を行うことができるようにな  
りました。

#### ▲平成14年度一般会計補正予 算(第4号)

歳入歳出それぞれ177万  
円を減額しました。

#### 主な内容は

下麻生支所の一部を川辺麻  
生郵便局に委託するための必  
要経費の増額、農業費の元気  
な営農確立対策事業内容の変  
更により事業費の減額をしま  
した。

#### ▲平成14年度介護保険特別会 計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ105万  
3000円を増額しました。  
主な内容は  
15年度からの介護報酬見直  
しに伴うシステム修正に要す  
る経費を増額しました。

## 追加案件

本定例会で、2件の意見書を審議決定し、関係機関へ提出しました。

### 地方税源の充実確保に関する意見書

#### ▲川辺町職員の給与に関する条例等の一部改正

議員及び常勤の特別職の期末手当支給率の0・05ヶ月分の引き下げと、職員の給与及び期末手当を人事院勧告に準じて引き下げをしました。

▲企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正  
職員の給与改定に合わせて改正をしました。

▲平成14年度下水道事業特別会計の繰入金の変更  
給与改定に伴う人件費の減額を減額しました。

▲補正予算  
・平成14年度一般会計（補正第5号）  
・平成14年度下水道事業特別会計（補正第3号）  
・平成14年度水道事業会計（補正第3号）

給与改定に伴う人件費の不用額を減額しました。

### 町村自治の確立に関する意見書

現下の地方財政は、長引く景気の低迷による大幅な税収減に見舞われ、その財政運営は危機的な状況である。

一方、地方分権の進展に伴い、地方自治体が担う役割は益々増大し、少子、高齢化の進展に伴う地域福祉施策の推進、資源循環型社会の構築に向けた環境施策の推進、生活関連社会資本整備、地域産業の振興・育成対策など、地域の実情に即した施策を積極的に展開していく必要がある。

このような状況下にあって、われわれ自らの行政改革を一層積極的に進め、財政の健全化に努めることはもちろんであるが、増大する住民の行政サービスのニーズに応えていくためには、地方税源の充実確保を図つて行くことは地方自治体にとって極めて重要である。

よって、平成15年度税制改正に当たつては、下記の事項について実現されるよう強く要望する。

1 固定資産税は、町村の財政を支える基幹税目であるので、平成15年度の評価替えに当たつては、一層の負担水準の均衡化、適正化を推進し、その安定確保を図ること。  
ゴルフ場利用税は、廃棄物処理や環境対策など、ゴルフ場所在の町村の行政サービスと密接な関係を有し、本税の10分の7が町村の貴重な財源となつていていることから充実確保を図ること。

特別土地保有税は、土地の有効利用を阻害するものではなく、未利用地の有効利用の促進という現在の土地政策に適合したものであることから、本税については堅持を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成14年12月20日

岐阜県川辺町議会

平成14年12月20日

岐阜県川辺町議会

現在、第27次地方制度調査会においては基礎的自治体のあり方等が審議検討されているが、去る11月1日に開催された地方制度調査会小委員会に提出された「西尾私案」は、町村の自己決定権を踏みにじり住民自治を否定するものであつて、我々として到底受け容れることができない。

また、自治の基礎である税財政制度の将来像については全く言及しておらず、今後、地方をして、どのような税財政制度の下で行政を行わせようとするのか、その見通しを示さないまま、やみくもに町村の「解消」を図ろうとするものであり、断じて認めるわけにはいかない。

本来、国は、第2次分権改革として、地方分権推進委員会が「最終報告」で示した地方税財源充実確保方策についての提言を最大限尊重し、先ずもつて地方に対し「税財源の地方分権」を行うべきである。地方が如何なる行政体制を選択するかは、この税財政制度の将来像を踏まえて地方が自主的に判断すべきものであり、この点「西尾私案」は、このあるべき順序を全く踏まない、地方分権の確立に反する案と言わざるを得ない。よつて、下記のとおりの意見について、善処方を強く要望する。

1 国は、地方自治制度の検討に当たつては、町村の自己決定権及び住民自治を尊重し、町村自治の確立を前提とすること。  
2 早急に自治の基礎である税財政制度の将来像を明らかにし、「税財源の地方分権」を早急に実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

# 一般質問

## そこが聞きたい 知りたい

定例会最終日の12月20日、7名の議員が質問に立ち、20項目にわたり町政をただしました。質問と答弁の内容は、次のとおり。



安田昌次議員

通気、乾燥を十分し、濃度測定も行う

**【安田議員】** 町が今まで改修、改築した学校施設等で、ホルムアルデヒド等の物質による「シックハウス症候群」（学校で原因のあるものをシックスクールという。）の問題は発生しなかつたか。また、現在建設している西タウン、第三保育所での対策はどうに考えているのか。

現在建設中の西タウンC棟及び第

### シックスクール対策は

揮発性化合物によるもので、工事中の対策としては、接着剤等の塗布に当たっての使用方法や、塗布量を十分管理し、適切な乾燥期間をとり、施工中はもとより工事完了後にも換気を十分行い室内に放散した溶剤、成分等の希釈をはかり、国の定める指針値以下としている。



第三保育所、児童厚生施設の内装工事

調査、指導、啓発をしている

**【日下部産業環境課長】** 農薬の販売所は、町内で2店舗あり、無登録の農薬は販売していない。購買者には薬品の注意書きを良く読むよう指導していると聞いている。

農業改良普及員が町内の農作物の販売農家に聞き取り調

**【岩田技術参事】** 内装材から発生する室内汚染物質に対する対策は、現在進めている。原因となる使用材料は主に壁クロス、合板類であり、その接着剤の成分から放散される

また、改修等においては、室内汚染の少ない材質を選択するなど注意を払っている。

**【横田教育課長】** 町内の小中学校においては、現在のところ問題は発生していない。文部科学省からの学校衛生基準の「教室等の空気」における科学物質の測定方法及び留意事項を学校へ通知し指導している。

三保育所等も通気、乾燥等に十分注意し濃度測定も行い進めて行く。

**農薬の安全使用基準の啓発はどのようにして行われるか**

**【安田議員】** 農薬の使用について県では、今後の対策として無登録農薬撲滅作戦を展開するにあたり、無登録農薬の販売、使用の未然防止と無登録農薬の3原則である「売らない」「買わない」「使わない」を徹底していく方針である。町内に、農薬の販売所は何店舗あるのか。また、農薬の販売に関しては、購買者に対して適切な指導をしているのか。農作物を栽培している一般家庭には適正な使用についてどのような指導や啓発をしているのか尋ねる。



積雪した道路（鹿塙地内）

【高井基盤整備課長】町道の凍結防止に、毎年12月に凍結が心配される坂道、交差点付近、橋に融雪剤を配置している。今も町内72箇所に設置し、また、町内の建設業者に委託をし、積雪がある時は早朝に危険箇所に融雪剤を散布している。

凍結防止舗装は、有効であるがコスト面で多額な工事費がかかることがら、現在の融雪剤の散布方法で対応していきたい。

### 安全対策について十分協議をしていきたい

【日下部産業環境課長】川辺

【安田議員】本格的な冬に入り、中山間地域の道路凍結防止対策は

### 融雪剤の散布で対処していきたい

【高井基盤整備課長】町道の凍結防止に、毎年12

月に凍結が心配される坂道、交差点付近、橋に融雪剤を配置している。今も町内72箇所に設置し、また、町内の建設業者に委託をし、積雪がある時は早朝に危険箇所に融雪剤を散布している。

凍結防止舗装は、有効であるがコスト面で多額な工事費がかかることがら、現在の融雪剤の散布方法で対応していきたい。

査を行ったが、無登録農薬は使用していないとの報告を受けている、また、普及員により農薬の正しい使い方も指導している。

一般農家については、県で作成したチラシを回覧して、各農事改良組合による座談会でも指導を行っていきたい。

町内各地の道路で積雪、凍結による交通の危険や不安を感じている住民が多くみえる。透水性舗装とか融雪舗装などの方策もあるが、どうか。

また、その方法がコスト面から困難であり、融雪・凍結防止剤の散布が主流となるなら、環境にやさしい薬品を使い、最も有効な手段を講じるべきと思うが、考えを伺いたい。



佐伯陽子議員

【佐伯議員】川辺おどりの会場の安全対策は

【佐伯議員】川辺おどりは実行委員会の主催で、交通安全協会、消防団、その他団体の協力のもとに開催され、例年以上に大変な参加者があった。会場も道路も相当な混雑であり、兵庫県明石市の歩道橋上の将棋倒し事故を思い出す。花火大会は今まで無事に行われてきているが、安全面で今後の課題を再確認し、今後に備えるべきと思うが考えを伺う。

おどりは商工会及び商工会青年部主催で川辺おどり実行委員会が企画、運営に当たつている。実行委員会には、運営委員会が組織され前年の反省をもとに綿密な打ち合わせをしている。

特に昨年の明石市の事故後、危機管理意識を持ち、加茂警察署、消防団、交通安全協会

などの団体と危険箇所及び想定される事故などについて再確認をし、関係係員の増員とともに必要箇所には警備員の配置、水上には警備艇2艇を増やして対策を講じている。今後も安全対策について十分な協議をしていきたい。



川辺おどり花火大会（14年8月）

## 防災訓練の内容の検討を



ナーシング川辺の避難訓練で消防署の説明を受ける

**【佐伯議員】** 東海地震に備えて9月1日に防災訓練を行い、内容の充実が図られている。視覚障害、聴覚障害などの災害弱者の方に災害に関連した適切な情報を提供できるよう、ボランティアの方の協力を得るなどして早急に情報網の確立体制を整える必要があると

思うが考え方を伺いたい。

**【高木経営管理課長】** 防災訓練は、間近に発生が予想されたもので、各区民の皆さんや消防団による初期消化訓練、日赤奉仕団による非常食の炊き出し訓練と試食も行つた。

また、今回の訓練では災害弱者対策として、独居老人を対象に避難希望調査、被害状況調査を重点的に、社会福祉協議会との連携により実施した。

視覚障害者、聴覚障害者、身体障害者などに対する情報伝達等の支援については、町では防災計画の見直し作業を進めており、この中で消防団、民生委員、ホームヘルパー、ボランティア団体等の協力を得ながら、地域ぐるみで災害弱者支援が実施できるよう、万全の体制をとつていただきたい

## 町防災計画の見直しで体制を整える

**【高木経営管理課長】** 防災訓練は、間近に発生が予想される東海地震を想定して実施したもので、各区民の皆さんや消防団による初期消化訓練、日赤奉仕団による非常食の炊き出し訓練と試食も行つた。

## 納古山登山事業の推進を



牧田富朗議員

## PRビデオの活用を図つていく

**【日下部産業環境課長】** 納古山登山については、13年度から町内の同好会や登山愛好家による登山道開設に向けた取

り組みと、山林所有者、林道管理者の協力を得て、今年、ケ洞林道を起点とした登山ルートの案内標識を設置した。

提言1の案内標識の追加設置は、それぞれに用地の管理者があるので、設置が可能か協議をしていきたい。

2のトイレの利用は、ブルーハウスのトイレが常時利用できる。

3の駐車場の整備は、現在約30台の駐車が可能で考えていない。

4の案内パンフレットは、納古山は七宗町と川辺町の共有財産でもあるので、両町協議して考えていく。

5の啓発、奨励は各種団体に登山の奨励、PRをするとともに本年度制作の観光PRビデオの活用を図つて



納古山山頂にぎわい (H15.1.13)

1 牧ヶ洞林道は整備されているが下麻生駅、教育研究所、国道沿い等には登山案内標識を追加設置する。

2 下麻生にあるプールのトイレも利用できるようにする。

3 駐車場の整備をする。

4 納古山登山の案内パンフレットを作成する。

5 の啓発、奨励は各種団体に登山の奨励、PRをするとともに本年度制作の観光PRビデオの活用を図つて

## 養護学校の誘致と就学指導委員会の現状は

【牧田議員】現在県下6圏域で養護学校のないのは、可茂地域だけである。可茂管内で106人の児童・生徒が通学生徒もいる。川辺町内に養護学校の誘致を望むが、方策はどうか。

また、就学指導委員会が適正な就学指導を図つておられるが、保護者の理解を得ることが重要であり、委員会の現状を尋ねる。

### 現時点では誘致は困難、誘致を働きかけていく

【加藤教育長】県では特殊教育学校を12校設置している。可茂地区からは、関養護学校、中濃養護学校、東濃養護学校へそれぞれ通学しており、関と中濃養護学校は美濃加茂市まで、東濃養護学校は、可児市までスクールバスが運行されている。

誘致については、過去に可

茂地区が一体となつて誘致運動が行われたが実現できなかつた経緯がある。今後、機会あるごとに誘致を働きかけていく。

就学指導委員会は、医師、学識経験者、学校、保育所、保健センター、親子教室関係者で構成している。定期的に委員会を開催し、就学時検診や専門部会による観察記録や指導記録などをもとに専門的に検討し、障害の種類・程度に応じた適正な就学がなされるよう努めている。また、学校でも校内就学指導委員会を設置し、個人に応じた指導がなされるよう対処している。

14年度は11月26日 第3回の委員会が開催され、その結果を受け、関係保護者に説明をし理解をいたくよう進めている。

## 学校司書教諭とパソコン講師の配置を

上の学校には司書教諭の配置が義務づけられたので、当然西小学校、中学校には配置されると思う。教育の機会均等からも

北小学校、東小学校にも講師として町で任用すべきと

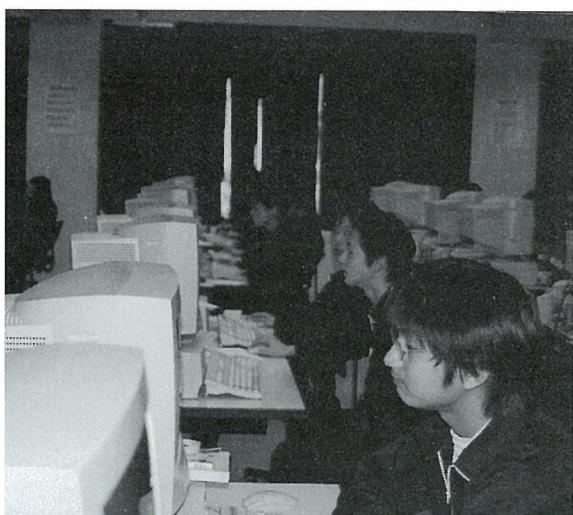
思うがどうか。

小学校に校

内LANの整備が計画されているが、教員では担任授業や教材研究、各種行事等で多忙であり指導に限界がある。定年退職をされた町民の技術者を講師に採用し、一層の情報教育の推進を図つたら良いと思うが考えはどうか。

### 配置は満たしている

【横田教育課長】司書教諭は現在、4校兼務の講師が2週間ごとに各学校の図書室に勤務している。町内の小中学校で司書教諭の資格を有した職



中学校のパソコン授業



大脇久男議員

学校では、14年の夏休みから職員がシステムエンジニアの指導を受け、今年度中には職員全員が児童・生徒に指導できる体制になると聞いている。15年度も引き続き、職員の指導を行う予定である。

## 高齢化社会と医療費の抑制対策は

【大脇議員】高齢化が進み老人医療費が膨張するのに伴い各健康保険の存続も困難を期し、国の医療制度改革で医療費の自己負担率の引き上げ等、国民の負担は増える一方である。町の13年度決算でも一般会計約44億円に対して老人保健特別会計は11億円ほどである。

医療制度の充実も行政とし

て重要なが、医療機関の世話を知らない元気な高齢者社会の構築であつて、福寿会活動等の奨励と、高齢者が興味を持ち、少しの実益を兼ね備えた施策の展開をすることが肝要である。考え方を伺う。

### すべての人が生き生きと活動できる施策を提供する

【佐藤町長】少子高齢化に伴い医療費、保険料等は今後も増大の傾向にある。町としては、社会福祉は限られた社会的弱者に対するサービスとしてではなく、地域での多様な生活課題に地域全体で取り組んでいただき、福祉活動を通じて地域を活性化するものである。そのことから、行政はもとより住民一人ひとりに求められるものと考えている。

現在「老人福祉計画」、「介護保険計画」、「児童福祉計画」、「障害者福祉計画」の策定委員会を開催して、検討をいただいている。この策定委員会の答申を謙虚に受け止め、すべての人が「生き生きと活動できる細やかな施策」を提供していく考えである。

(1) 児童福祉施設（保育所）  
との3世代交流事業

### 住民の理解と協力を得て福祉のまちづくりを推進する

【赤坂住民課長】現在、各福祉計画の策定に向けて委員の皆さんに検討をお願いしている。

計画の範囲は福祉、保健、教育を中心に、住民参加、住民交流やまちづくりなどである。また、障害者、障害児、高齢者など、社会的に弱い人達への支援を重視した内容とし、「福祉のまちづくり」の基本方針を明確にするものである。

基本施策として、(1)シルバーボランティアの養成、(2)高齢者等いきいきサロン事業、(3)各組織リーダーの養成を考へている。

地域住民の温かい理解と、互いに助け合う心やさしい支援が得られるよう、福祉の町づくりを推進していきたい。

1 住民参加による福祉のまちづくり  
2 ボランティア、NPOの活動を支援するまちづくり  
3 安心して暮らせる福祉のまちづくり

4 地域福祉推進に関する体制づくり

以上4つの基本施策について、住民の代表の方々に検討していただき、計画を策定す。

現在進めている福寿会事業としては、(1)児童福祉施設（保育所）

### 目標を達成できる

### 行財政改革の成果と効率は

【古川対策監】行財政改革は答申を真摯に受け止め、推進する。計画の範囲は福祉、保健、教育を中心に、住民参加、住民交流やまちづくりなどである。また、障害者、障害児、高齢者など、社会的に弱い人達への支援を重視した内容とし、「福祉のまちづくり」の基本方針を明確にするものである。

今後進めていく主な事業は、(1)シルバーボランティアの養成、(2)高齢者等いきいきサロン事業、(3)各組織リーダーの養成を考へている。

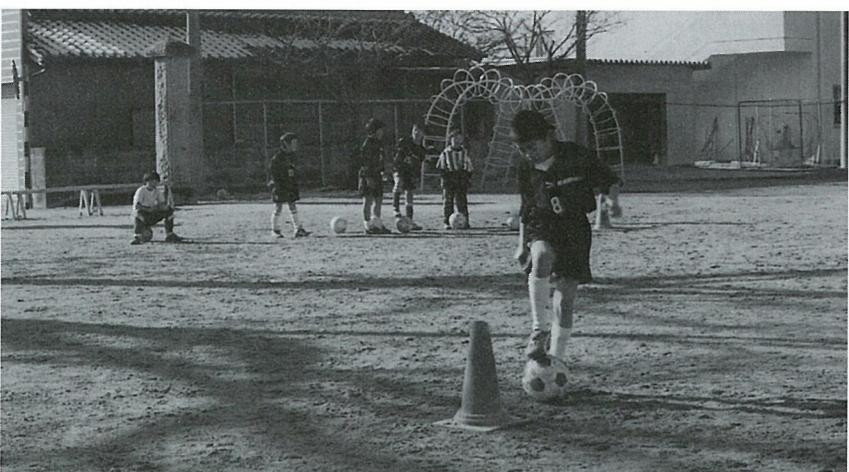
部実施、19項目が検討中である。

取り組み状況は、84項目中59項目が実施済み、あるいは実施中で、10項目が一部実施、19項目が検討中である。取り組み状況は、84項目中59項目が実施済み、あるいは実施中で、10項目が一部実施、19項目が検討中である。取り組み状況は、84項目中59項目が実施済み、あるいは実施中で、10項目が一部実施、19項目が検討中である。

【大脇議員】平成11年に中学校にサッカーハブの設置について質問したが、問題はあるが生徒、保護者と十分時間をかけ検討するとの解答であった。

### 中学生のサッカーカラーブの設立を

ている。



サッカースポーツ少年団の練習（西小グラウンド）

どの程度の協議をされたか伺いたい。

また、現在小学校3校の児童によるサッカースポーツ少年団に66名が加入し将来期待できる選手も多く、保護者においても指導を含めて全面的に協力を惜しまない姿勢であるので、中学生になつてもサッカーができるよう、サッカークラブの設立が必要と思うが考えを伺う。

**【山田教育対策監】** 中学校の部活動として位置付けることは、現在の部の種類、指導者の数、場所などの問題があり、設立は困難で、学校長も生徒や保護者の期待に答えられず苦慮している。

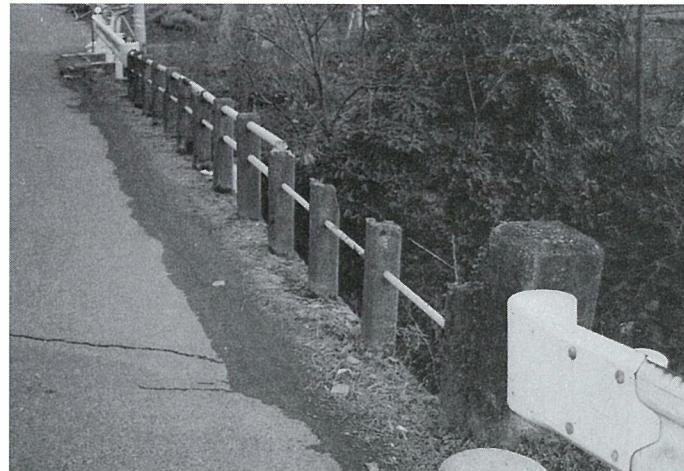
現在のスポーツ少年団のサッカーを拡大し、小学生も中学生も入団できるよう、指導者と保護者の理解が得られるなら、4月の発足に向けて調整を進めていきたいと考えている。

### 中学生も入団できるスポーツ少年団の発足を検討



桜井真茂議員

朽化が進んでいる。朝晩のラッシュ時となれば橋の上で、すれ違う車も多く、また、学生の通学路にもなっている。架け替えはすぐには困難とは思うが、安全面から両サイドの欄干だけでも取り替えできないか。



ガマジリ橋（下川辺地内）

**【桜井議員】** 下川辺地内のガマジリ橋は欄干は破損し、老

### ガマジリ橋の老朽化対策は

### 安全対策を早急に考えたい

**【高井基盤整備課長】** ガマジリ橋の付近は、東海環状自動

車道の側道工事が15年度から始まる予定である。完成すると側道を利用して車での国道41号線への出入りが可能となる。

ガマジリ橋の架け替えは国道の管理者である国、河川管理者の県との協議が必要で、難しい問題もあるので地元の皆さんとの協議が必要である。

危険である欄干について、早急に安全対策を考えていきたい。

### 下水道工事後の道路整備計画は



舗装されていない農道

1年後に本舗装をされることになつては農道の未舗装の箇所が多く、畑のU字溝は小さく水はけも悪い。舗装されていない農道の舗装とU字溝の取り替えをして整備する必要があると思うが計画の有無を伺いたい。

道路側溝については順次改良計画を立て、整備していくよう努める。

U字溝については町の管理の施設であるが、農地の排水が目的であるので通常の維持管理は受益者でお願いしたい。

### 順次整備を進めていく、U字溝の簡易な管理は受益者で

**八幡神社横の交差点の  
安全対策は**

【桜井議員】下川辺八幡神社横の交差点は町道から国道41号線との距離が近く、東から西に向かう車輛は、先に国道41号線の交差点信号が目に入り、その信号が青の時は一旦



八幡神社横の交差点（下川辺地内）

**キャッチングフラッシャーの設置が可能か検討する**

【高木経営管理課長】交差点には一時停止の看板や止まれの表示、ロードフラッシャー、照明灯など設置してあり、交差点であることは容易に確認できると思う。しかし、実際

【桜井議員】町長は就任以来職員をすべて把握されたと思うが、派閥をつくつたり、足の引張り合をする職員が多いと聞くが、職員は公僕として自覚をもって町民のために勤務に励むのが本来の姿であるが、その事実はどうか。

また、全職員と個々に面接をされたが、その成果はどうであったか尋ねる。

**職員の公務に対する意識は**

**町民のための行政を進めることが責務である**

【佐藤町長】職員との面接は就任後すぐに実施し、時間は限られていたが互いに腹藏なく思いを述べ合い、有意義な時間であった。今年になつて

【若手職員との語る会】を実施し、若手職員数名と私が仕事を上の話題を中心にして1時間話し合いをした。13回、延べ72人の職員と膝を交えて話し合うことができ、一人ではなくかなか意見が述べられない職員にとって有意義であったと

停止を怠り通過するため、交差する町道を走行する車と衝突する事故が多発している。一旦停止を徹底させるため、止まれを表示するフラッシャー等を設置できないか。

に交通事故が発生していることからキャッチングフラッシャー（車輪感応式電光表示板）の設置について、設置場所の確保、車輪からの確認が容易であるかについて検討する。

思っている。

職員の職務は、川辺町と町民があつてこそ仕事が成り立つもので、町民本意の町民の責務であると常々職員に伝えている。職員も意気に感じて一生懸命職務に励んでいる

と認識している。そのことから、就任以来、職員の中に派閥があつたり、自らの榮達のため他の足を引っ張る者がいると思つたことはない。職員すべてを把握できないとすれば、責めを負うべきは町長

精進が足りないとこは謙虚に反省し、町民の皆様のご期待に添うよう渾身の努力を傾注する覚悟である。皆様の温かいご理解、ご支援をお願いしたい。

**制度、組織を活用し資質の向上に努力する**

【加藤教育長】教育の効果は、先生と子どもと保護者そして地域の人々との相互の信頼関係が出来ていて現れるものであり、信頼関係の樹立に細心の努力を注いできた。教員の資質の向上についても、あらゆる機会をとらえて努力をしてきた。

各学校では、資質向上委員会を設置し、実態の把握、教員への指導方策など対策を検討し、校内研修を行い改善に努めている。また、校長、教頭による教員に対する自己啓発面談を通じて個別指導も行っている。校内での研修で改

きで勉学に励んでいました。生徒のやる気のなくなる教師がなぜ川辺におられるのか。また、小学校の運動会で、競技をしているのに合羽を着て一生懸命職務に励んでいる教師も子ども達と一緒に濡れと見られるのが生まれるのではないかと思う。教育長の所見を伺う。

善が見られない場合は、県の資質向上のための組織や制度を十分に活用し、教職員の研修を行う制度がある。



桜井一二議員

【桜井議員】以前、観光協会設立の研究会が発足され、町長、議会議員、商工会役員等多数出席し話し合いの結果、設立に同意した。後日役場で観光協会設立準備会を開催し、役員の選出及び運営の協議を行った。

川辺町には、飛驒川ダム湖があり、ボート王国として知名度もあることから自然に恵まれた環境をいかに観光事業に結びつか研究努力をして

### 観光開発とまちづくり対策を

きたが、夢に向かって進むべきと思うが、考えを伺いたい。

### 地域や民間企業が参加して運営できる観光開発を検討したい

【日下部産業環境課長】本町には、農林商工業者や手作り民芸品等を作っている団体で組織された特産品協議会がある。特產品の開発や育成、さらには販路拡大などの活動を行っている。また、自然とふれあう会では、川辺の自然について自ら学習し、希望者の要望に応じて教室を開いたり、教育委員会でも歴史、文化財の精通者による歴史教室を開催したりと、地域の資源は活用されつつある。

観光開発は、一朝一夜にできるものではなく長期的な地域振興、町づくりの中で複合的に形成されるものであり、地域の資源といわれる人、自然、歴史、文化、産業などの活用を一層活性化させる環境を整備しながら、地域住民や民間企業が参加して事業開発について検討していきたい。

### 工場跡地に工場誘致はできないか

【桜井議員】町内の商工業界は、デフレ経済の中で苦しい経営状態である。工場、商店の閉鎖や倒産が続出している。町税等の減収も大きくなっている。

工場跡地を利用して工場誘致に積極的に取り組むべきだが、工場跡地の利用施策を尋ねる。

### 工場誘致は効果的な手段情報収集を行っていく

【日下部産業環境課長】工場跡地に工場を誘致することは、雇用の促進と町税の増収につながる効果的な施策であると認識している。

現在町内には、数か所の工場跡地があるが、いずれの土地も撤退による本社扱いとなつてはいるため、情報収集などを行っていきたい。

### 美浜町との姉妹提携の行方は

【桜井議員】美浜町とは、児童生徒を始め各機関、各種団体などの交流が深められてきた。町のふれ愛まつりには、海産物の安価販売等で大変協力をしていただき町民も喜んでいる。

合併問題が進んでいる中、姉妹提携の行方はどうなのか。

【佐藤町長】美浜町との姉妹都市提携については、平成8年からお互いの共通意識として進められてきたものと理解している。

13年のふれ愛まつりのときにしたが、美浜町では、海外との姉妹都市提携がなされ、国

### 提携はもう少し見守つていく



児童の美浜町との交流（東小5年生）

際交流が活発で、また、隣町との交流も進められており、提携についてはもう少し見守っていきたいと考えている。いずれにしても、現在行われている交流を深めるとともにさらに交流の輪が広まるよう促進していきたい。



鈴木朝典議員

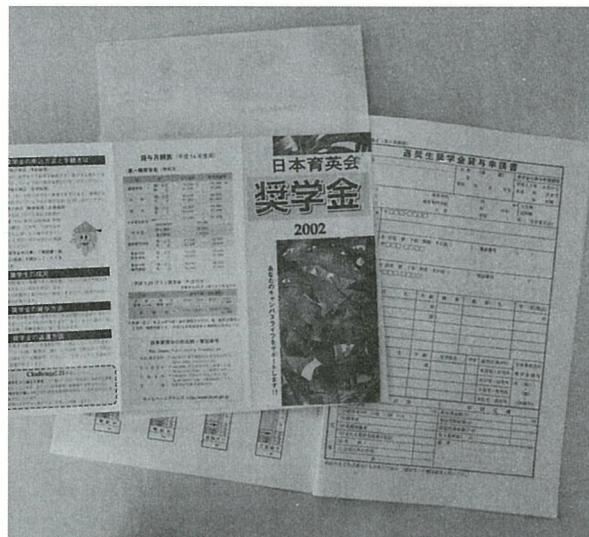
**【鈴木議員】** 最近の厳しい社会情勢の中、保護者が会社の倒産、事業の縮小でリストラにあり失業したり、自営業者で収入が落ち込んだ家庭の高校生が、家庭の事情で進学を断念する例もある。

愛知県高浜市で、このような高校生を対象に、条件が満たされば、月額8千円の無返済の奨学金を支給している。

### 高校生に奨学金を支給したらどうか

高校生が進学を断念するのを防ぐため奨学金支給制度の創設を提言するが考えを伺う。

### 制度について研究したい



奨学金制度のパンフレット

**【加藤教育長】** 勉学の望み高き若者が、進学を断念しなければならない事態が生じているとすれば心の痛む残念な問題である。

奨学金については、現在中学校卒業の時点で推薦しているのは、東濃信用金庫育英会の奨学金制度で、川辺中学校では毎年1名の実績がある。

厳しい社会情勢の中、生徒の実態などに注目しながら奨学金の制度について研究した

いと考へる。いずれも、学業成績が優れていて、生活態度がまじめである生徒が対象で、それぞれの定められた資格基準を満たしているものが採用されている。

また、日本育英会の奨学金制度もあり、高等学校入学後に募集・選考がある。このほかに、緊急採用奨学金制度もあり、緊急に奨学金を貸与するもので随時申し込みを受け付けている。交通遺児に対する奨学金制度もある。

**美濃加茂市・村でつくる  
「美濃加茂市・  
加茂郡町村合併検討協議会」**

は、8月28日以来、6回の会合で基本5項目などについて合意がなされました。

今後は、法定協議会で決定されます。

### 市町村合併

- ・主な合意事項は
- ・合併方式は編入方式
- ・新市の名称は美濃加茂市
- ・合併の目標期日は平成17年3月31日までに
- ・新市の事務所の位置は現美濃加茂市庁舎の位置
- ・財産及び債務の取扱はすべて新市に引き継ぐ
- ・議員の定数及び任期は法定協議会で協議する
- ・役場の取り扱い
- ・現町村の役場は、当分の間支所とする
- ・地域審議会の設置
- ・現市町村の区域を単位として必要な区域には設置する

わが国で初めてテレビの放送が始まったのは、半世紀前の2月1日でした。当時テレビ受像器を持つてたのは、ごく一部の富裕層であり、一般家庭では高嶺の花でした。

あの頃の番組で最も人気があったのは娯楽的な「お笑い3人組」、「ゼスチャーノ」などがあげられます。私がわくわく楽しくさせられたのは、なんと言つても「プロレス中継」でした。中でも力道山が外国の大男を倒したあの空手チョップでなかつたでしようか。戦争で疲弊した気持ちを何とも痛快な気分にしてくれたのは私だけだったでしようか。

我が家にはテレビがなく、近所の床屋さんのテレビを見せてもらうのが唯一の方法でした。しかし、店の中へは入れず、北風のふく戸外でカーテンの隙間からぞき見をしていた時の寒さは今でも忘れませんが、よい思い出です。

文明の進歩は目覚ましくまさに日進月歩か、いや秒針分歩といったところか。(S)